

補助事業番号 2022M-122
補助事業名 2022年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業
補助事業者名 地方独立行政法人岩手県工業技術センター

1 補助事業の概要

当センターでは、岩手県のものづくり産業の振興のため、製品開発に関する研究や製品品質評価に係る依頼分析・技術相談など、地域企業の支援を行っており、これに資する設備を導入するもの。

2 予想される事業実施効果

① 強エネルギー型促進耐候性試験機

強エネルギー型促進耐候性試験機を導入したことにより、太陽光・温度・湿度・降雨などの条件を人工的に再現し、屋外暴露試験との相関性を損なわずに試験評価が可能となる。また、照射照度を太陽光の3倍相当の180W/m²に設定することで、促進性が向上し、試験時間の短縮が可能となるため、製品開発のスピード化への貢献が期待できる。本装置を依頼試験、技術相談などの企業支援事業や研究開発事業に円滑に活用することで、県内企業の品質管理、製品開発を支援し、本県のものづくり産業の技術力向上に寄与することができるもの。

② 複合サイクル試験機

複合サイクル試験機を利用した、企業支援及び研究活動を行うことで、製品の信頼性向上、顧客満足度の向上が見込まれ、それに伴い県内中小企業の成長産業への参入や新規事業創出への展開が期待できる。また、本装置では金属塗装製品の屋外耐食性能を短時間で評価可能であることから、岩手県工業技術センターの研究シーズである、塗膜の評価技術、電着塗装技術等に関する研究の加速が見込まれ、県内企業への技術移転による産業振興や雇用創出への貢献も期待できる。

3 本事業により導入した設備

① 強エネルギー型促進耐候性試験機

https://www2.pref.iwate.jp/~kiri/facility/equipment/pdf/R4_JKA_sokushintaiko.pdf

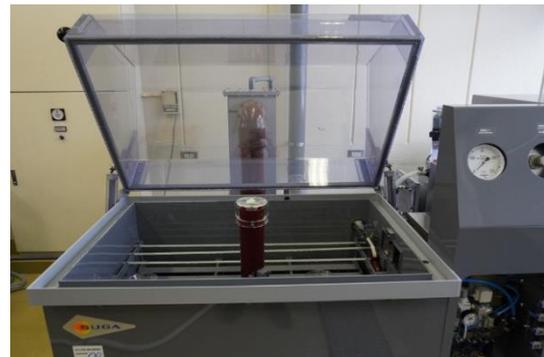
強エネルギー型促進耐候性試験機は、太陽光・温度・湿度・降雨などの屋外暴露条件を人工的に再現し、屋外で使用する製品・材料の耐候性評価を行う装置で、塗料、プラスチック、繊維、ゴムなどの工業材料の開発や品質管理などに活用できる。光源は太陽光に極めて近似した「キセノンランプ」を使用することで、屋外暴露試験との相関性を損なわずに試験評価が行える。また、照射照度を太陽光と同等の60W/m²から180W/m²に上昇させることで、屋外暴露の3倍の促進試験が行える。



② 複合サイクル試験機

https://www2.pref.iwate.jp/~kiri/facility/equipment/pdf/R4_JKA_fukugosai kuru.pdf

複合サイクル試験機は、金属塗装製品及び金属材料の屋外での腐食環境を人工的に再現する装置で、通常の塩水噴霧試験のほか、乾燥試験、湿潤試験の組み合わせを繰り返し、複合的な腐食試験を促進評価試験が行える。



設置場所：【地方独立行政法人岩手県工業技術センター】

③ 本事業に係る印刷物等

<http://www2.pref.iwate.jp/~kiri/>

<https://www2.pref.iwate.jp/~kiri/facility/equipment/index.html>

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 地方独立行政法人岩手県工業技術センター
(チホウドクリツギョウセイホウジンイワテケンコウギョウギジュツ
センター)

住所： 〒020-0857
岩手県盛岡市北飯岡二丁目4番25号

代表者： 理事長 戸館 弘幸 (リジチョウ トダテ ヒロユキ)

担当部署： 企画支援部 (キカクシエンブ)

担当者名： 上席専門研究員 岸 敦
(ジョウセキセンモンケンキュウイン キシ アツシ)

電話番号： 019-635-1115

F A X： 019-635-0311

E-mail： CD0002@pref.iwate.jp

U R L： <http://www2.pref.iwate.jp/~kiri/>